

令和4年度事業経過報告書

1 事業経過報告

次のとおり事業を執行した。

(1) 会員の拡充

入会勧奨事業として調理師試験準備講習会を模擬試験を含む5会場で開催。健康福祉センター（保健所）単位の支部合同開催及び本部主催会場で実施し、受験者が効率的に勉強できるよう補助テキストの作成をしたが、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく影響し参加者は少なかった。この状況下で会員増は難しく昨年度より401名の減、会員数は3,079名であった。

(2) 第15回県委託調理師業務従事者届出受理作業

第15回の届出受理件数は35,790件であった。

(3) 県委託千葉県調理師講習会事業

平成28年4月1日から施行された「調理師による県民の食生活の向上に関する条例」の第5条に「飲食店営業等における調理の業務を行う調理師は、その資質の向上のため、知事が指定する講習を五年ごとに受けるよう努めなければならない。」等と定められている。

千葉県調理師講習会の第7回目。調理師免許を取得し、県内で飲食店営業等における調理業務に従事している者に対し、その資質の向上のため、時代に即した調理の知識の習得、更なる調理技術の向上のため、栄養と健康・食品衛生・食文化・調理学のうち3科目以上を学ぶ講習会である。新型コロナウイルス感染症の影響が大きく影響し、6会場202名の調理師が受講した（調理師免許新規取得者研修受講者も含む）。

(4) 県委託千葉県調理師講習会(調理師免許新規取得者研修)事業

平成28年度から「千葉県調理師講習会」の一環として本部開催されることになった。新規に調理師免許証を取得し、県内で調理業務に従事している者に対し、時代に即した調理の知識の習得、更なる調理技術の向上のため、栄養と健康・食品衛生・食文化・調理学を学ぶ講習会である。今年度はコロナ禍でも参加して下さる方達の為、最大の注意を払って講習会を実施した。

(5) 県補助金事業食と健康推進講習会

県民の健康づくりを推進するため、一般県民を対象として、千葉県産の食材を活用し、健康づくりに配慮した調理法等の講習会を当会調理師が講師となって県内複数の地域にて開催。16会場の計画を立てたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け4会場が開催中止となった。12会場で470名の一般県民が参加した。

(6) 第 60 回千葉県調理師大会

大会開催運営は本部担当の記念大会とし、千葉県後援により県知事・関係当局並びに国・県会議員および関係団体の列席をいただき、令和 4 年 10 月 18 日「四街道市文化センター」において開催した。同ホールにおいて令和 4 年度優良調理師の表彰を行った。大会を通して、支部間の交流と食文化の発展、県民の食生活の向上・健康増進に寄与するため、調理師の資質の向上を図った。

第 2 部として、同ホールにて、元なだ万調理長・現ホテルニューオータニ幕張日本料理顧問の黒田廣昭氏の記念講演があった。第 33 回料理コンクールと同日開催した。

〔千葉県知事表彰受賞者……調理師功労 3 名〕

習志野支部 中臺 敏行 柏 支部 伊藤 平
親和会支部 栗原 隆一

〔千葉県健康福祉部長表彰受賞者……調理師功労 3 名〕

印 旛支部 塚田 文雄 銚子支部 柴 修悟
千葉日調技能士会支部 蒔田 貢久

〔(公社)日本調理師会長感謝状……調理師功労 8 名〕

習志野支部 春日 繁治 船 橋支部 渡邊憲一郎
船 橋支部 天羽しづえ 市 川支部 上田栄一郎
柏 支部 飯山 茂夫 銚子支部 外園 憲幸
親和会支部 桜井 敦史 千葉県ふぐ連盟支部 高橋 芳隆

〔(一社)千葉県調理師会理事長表彰受賞者……調理師功労 11 名〕

習志野支部 田村 昌哉 習志野支部 榎本 裕司
船 橋支部 高瀬 修 船 橋支部 小沼 正次
柏 支部 吉田 幸夫 柏 支部 宮下 智
銚子支部 垣内 貴弘 銚子支部 見市 伸男
長 生支部 積田美智夫 西洋料理支部 高橋 守
千葉県ふぐ連盟支部 武井 彰

(7) 第 25 調理師の声発表会

調理師大会と同時に実施、式典の中での発表を行った。会員が直接参加し意見を述べ、会員意識の高揚を図った。更に、会運営の組織強化と調理師の地位向上に寄与した。

〔発表者〕 千葉県調理師会 習志野支部

田村 昌哉『調理師の働き方改革』

(8) 第 33 回千葉県調理師会料理コンクールの開催

調理師大会と同日に実施した。Ⅰ類・専門料理部門（日本、中国、西洋、すし料理）、Ⅱ類・郷土・ヘルシー・創作料理部門（課題食材（房総ジビエ）、自由食材）および第 8 回を迎えたⅢ類一般部門（私のお薦めの新郷土料理）に於いて合計 76 作品の応募があり展示された。

調理技術の向上・研鑽が図られ、各専門部門の技術者同士の交流もあった。また、

参加会員に対し調理技術の向上に寄与した。

〔千葉県知事賞〕

大徳 冬季(日本中国料理協会・マロウド [®] インターナショナルホテル成田)	I 類(中国料理)
玉城 光留(親和会支部・鴨川ランドホテル)	II 類(課題食材の部)
渡邊 修宏(親和会支部・ホテル豊明殿)	II 類(自由食材の部)

〔千葉県健康福祉部長賞〕

高嶋 智士(親和会支部・満ちてくる心の宿 吉夢)	I 類(日本料理)
佐々木俊輔(親和会支部・満ちてくる心の宿 吉夢)	II 類(自由食材の部)

〔千葉県農林水産部長賞〕

岩波 暁(親和会支部・宿 中屋)	II 類(課題食材の部)
------------------	--------------

〔一般社団法人千葉県調理師会理事長賞〕

蒔田 貢久(館山調理師庖心会・南海荘)	I 類(日本料理)
佐々木俊輔(親和会支部・満ちてくる心の宿 吉夢)	II 類(課題食材の部)
高山 英幸(全日本司厨士協会・株式会社ティーエフケー)	II 類(自由食材の部)
市川 雅弘(個人)	III 類(一般の部)

(9) 優良調理用資材・器材等、商社展示会の開催

調理師大会会場で実施した。協力商社等が出展、会員と交流を図った。

(10) 関係団体との交流促進

公益社団法人千葉県栄養士会、公益社団法人千葉県食品衛生協会、千葉県飲食業生活衛生同業組合と交流事業の活性化を図った。

(11) 調理師試験準備講習会の開催

公益社団法人調理技術技能センターの協力を得て、「過去3年の調理師試験問題と解答」を作成して受験者に対応した。

更に講習会講師を公益社団法人千葉県栄養士会と公益社団法人千葉県食品衛生協会の協力により依頼のあった支部に派遣した。講習会受講者数は新型コロナウイルス感染症の影響で会場数が減ったこともあり70名に激減した。

調理師試験、調理師試験準備講習会案内のチラシ兼申込用紙を1,000枚作成、各支部に配布し周知を図った。

(12) 調理師手帳、会員証、認証、ステッカーの活用促進

調理師手帳、会員証、認証及び調理師のいる店ステッカーの活用と普及促進、社会的身分保証等会員の便宜のためまた財政・組織の強化のために活用と普及促進を図った。

(13) 広報活動の推進

会員への情報提供として広報 FAX 通信を随時4回発行した。ホームページには事業等の情報、年間行事予定、優良調理師表彰受賞者等の掲載をした。

(14) 会員への研修事業

令和4年11月15日、11月16日、参加者16名（日帰り参加含む）で千葉県内研修を実施し、県内の食文化等の見聞を通し、資質向上を図った。今回は東葛エリア・茨城県を巡る旅でした。1日目は朝から千葉港遊覧船にて港めぐりを楽しみ、中国料理協会廣田千葉県部長の店「天廣堂」でランチコースを堪能、茨城県笠間の「田村しいたけ園(副王しいたけ)」に立ち寄り、様々なお話を伺いました。2日目は協力商社の「キリンビール取手工場」を見学、バーチャル体験の後、ビールの試飲。新松戸「かやぶき蕎麦やぶ」にて昼食、松戸支部役員3名も加わり交流を図りました。

(15) 調理師の身分確立の推進

調理師に関する条例は、県内の飲食店の施設ごとに調理師を置くことを努力義務とし、平成28年4月1日に施行され、施行に伴う「千葉県調理師講習会」も今年度7回目がスタートし、県内複数の地域にて開催。新型コロナウイルス感染症に対し、最大限の注意を払いながら開催し6会場で202名の調理師が受講した。

県庁担当課とも度々話し合い開催内容の充実に努めた。今後もさらに調理師の身分の確立を真剣に進めていく。

(16) 令和4年度調理師関係功労者厚生労働大臣表彰等受賞者

令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、表彰式典は中止になった。次の2名が厚生労働大臣表彰の栄に浴した。令和5年1月23日開催の「合同新年会」の席上で表彰状の授与式を行った。

【労働大臣表彰】

調理業務功労者 加瀬 浩平(銚子支部)

調理業務功労者 高橋 貴俊(松戸支部)

(17) 会員への福利厚生事業

会員の福利厚生を図るため、アメリカンファミリー生命保険会社の「がん保険」を継続した。

(18) 一般社団法人としての会の運営

平成24年4月に一般社団法人に移行が完了し、千葉県調理師会は一般社団法人(非営利型)に移行した。法人税制上、公益法人等として取り扱われる。公益目的支出計画は終了し、公益目的支出計画実施報告書の内閣府への提出も完了した。将来の公益社団法人登録を目標として明確な事業活動を進めて行く。

また、総会終了後2週間以内に、登記内容の変更事項を法務局へ登記申請をした。